

### ⚠ 安全のために

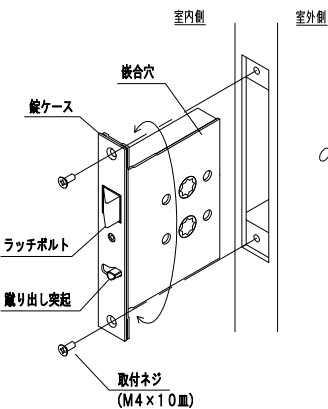
本製品は扉を開ける力を軽減するアシスト機能があります。正しく取付けされていないと、十分に機能を発揮できない場合があります。全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい。  
 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締めすぎによって破損する場合があります。(締付トルクの目安 0.7~1.5Nm)  
 製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

#### 1 扉・枠の切欠きの確認

切欠き図に従って、扉、枠に切欠きをしてください。

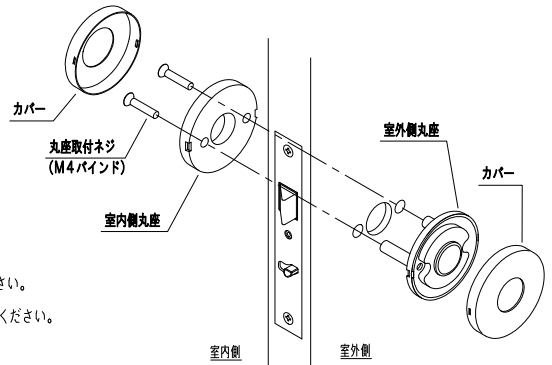
#### 2 錠ケースの取付方法

ラッチボルトの向きが扉の勝手に合うように、錠ケースを回転させ取付ネジで取り付けてください。  
 本図は右勝手を示す。左勝手は上下反転となり、ラッチと蹴り出し突起の位置が逆になります。



#### 3 丸座の取付け

室外側丸座を扉に差し込み、室内側丸座に丸座取付ネジを入れて仮締め後、ハンドルを差し込んで丸座取付ネジを本締めしてください。(丸座の位置出しのための作業となります)  
 ハンドルを取り外して、両側にカバーを取付けてください。(カバーの突起を丸座の溝に合わせて取付けてください)



#### 4 レバーハンドルの取付け

再度、ハンドルを差し込んで室内側から固定ネジを締め込んでください。  
 また、同梱の「ハンドル操作の注意」を室内側ハンドルに引っ掛けてください。

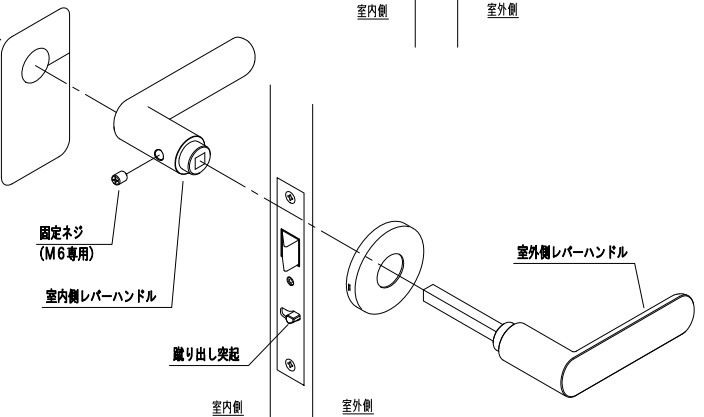
⚠ ハンドルを操作し、蹴り出し突起が最後まで作動することを確認してください。

「ハンドル操作の注意」

入居者様へハンドル操作の注意

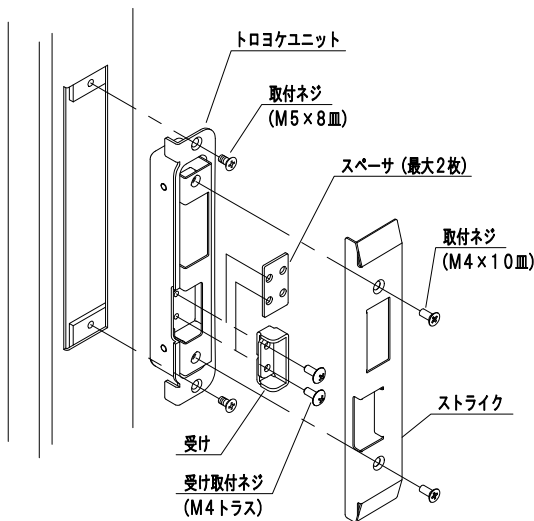
注意事項

- ①ハンドルが回転途中で、室内外の気圧差によって、扉が開く事があるためご注意ください。
- ②アシスト機能がついた製品のため、アシスト機能の作動範囲は、ハンドルが重くなります。



#### 5 トロコユニット、ストライクの取付け

トロコユニット、ストライクをそれぞれ取付ネジで固定してください。



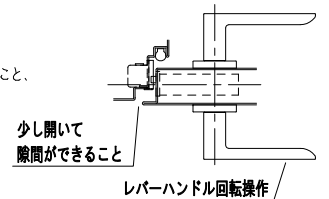
#### 7 受け寸法法の調整

戸先のチリ寸法に合わせて、対震ストライクの受け寸法を調整してください。(フロントとストライクの隙間)  
 受け寸法を調整する場合は、受け取付ネジを取り外して、受けの下にスペーサを追加してください。  
 スペーサ0枚: チリ3.5mm未満 / スペーサ1枚: 3.5mm以上5mm未満 / スペーサ2枚: 5mm以上

⚠ 受け寸法が適切でないと、十分に開力を軽減するアシスト機能を発揮できない場合があります。  
 また、扉に干渉して傷が付く恐れがあります。適切な受け寸法に調整して、ご使用ください。

#### 8 作動確認

室外側レバーハンドルの操作に連動して、扉が少し開いて隙間ができること、およびラッチボルトが反転可能であることを確認してください。  
 隙間ができない場合は、受け寸法の調整をやり直してください。



#### 6 チリ寸法の測定

下図を参考にして、チリ寸法を測定してください。

